平成23年度中学校学習状況調査　第２学年　理科　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点 科学的な思考	観点 技能表現	観点 知識理解
第1学年	化学分野	(2)ア(ウ)	・気体の性質と特徴に関連付けて，発生方法を理解している。	(1			○
		(2)ア(イ)	・気体の種類と性質によって，それぞれの適切な捕集方法を習得している。	(2		○	
		(2)イ(ア)	・溶解度のグラフから，水に溶ける物質の質量を読みとっている。	(3	○		
		(2)イ(ア)	・水の温度と水に溶ける物質の質量の関係について，溶解度のグラフから説明している。	(4	○		
	地学分野	(2)イ(ア)	・火山灰に含まれている鉱物の色をもとにマグマのねばりけと火山の噴火のようすについて推定している。	(5	○		
		(2)イ(ア)	・火成岩と深成岩の特徴や成因について理解し，知識を身に付けている。	(6			○
		(2)ア(ア)	・地層の重なり方の規則性を見いだし，地層の広がりを推定している。	(7	○		
		(2)ア(ア)	・示準化石に適している古生物の生息状況を理解している。	(8			○
		(2)ア(ア)	・堆積物から地層の生成当時の様子について理解している。	(9			○
第2学年	物理分野	(3)ア(イ)	・電圧計につないだ端子をもとに，針が示す値を正しく表している。	(11		○	
		(3)ア(ウ)	・回路の電流と電圧の測定結果をグラフに表している。	(12		○	
		(3)ア(ウ)	・回路の電流と電圧の関係を示した表やグラフから，電熱線の抵抗を求めている。	(13			○
		(3)イ(イ)	・磁石とコイルを用いた電磁誘導の実験結果から，電流の向きを推定している。	(14	○		
	生物分野	(3)イ(ア)	・主な特徴をもとに動物を推定し，観点に基づいて動物を分類している。	(16	○		
		(3)イ(ア)	・両生類の特徴を理解し，同じなかまの動物を推定している。	(17	○		
		(3)ア(ウ)	・ヨウ素－デンプン反応やベネジクト液による糖の検出方法を理解し実験結果を表している。	(18		○	
		(3)ア(ウ)	・だ液の働きを確かめるための対照実験の方法について考えている。	(19	○		
		(3)ア(ウ)	・小腸で吸収されたブドウ糖やアミノ酸などの養分のゆくえについて理解している。	(20			○

移行・追加された内容（領域及び内容は，新学習指導要領に対応している。）

中1	第2分野	(1)ウ(イ)	・シダ植物とコケ植物の特徴を理解している。	(10			○
中2	第1分野	(3)イ(ウ)	・発電機から得られる電流の向きと大きさについて理解している。	(15			○